



大道要士

大道要士

YOUNG KING COMICS

デスレス

DEATHLESS



六道零士
Mitsuharu Kuroki





おかすー

うそはんは
すこいの
でしたー

なんでも
あいしました
したのでせう

お母さん
命でありますー











すこいぬー
ノリで
スザクが
押されてる

スズキ殿は
出るでないぞ

こやつに
これ以上いぢぬ
情報はやえたくない



カマドも
こんなものを
調付けるを

お腹がすいたと
言われて
ましてのためで



では
改めて御礼
申し上げます

はは

この乙女までか
死の国の絶望の中
一縷の希望を胸に
こちらの門を叩いた
甲斐がありました

ああそうかい

まったたくー



何故
助ける？

…情弱は
欲しいよね

なにか
起こってる
みたいだけど…

わかんないまま
巻き込まれるより
お断りちゃんや
スザクが判断できる
情報があったほうが
いいでしょ？

そこは
他力本願か



あたし
このひと嫌いだよ

やったことも
許せない

キモい



自分を殺した
相手に少々の
嫌からせくらい
いいじゃ
ありませんか

面倒臭い
だけにやから
やめいと
言うところんじや

おや

なぜか
このお面からは
鳥け犬の風味が

で

いったい何が
どうしたってんだい

阿東の
悪戯にや
まだ筆角は
あるのだろ

それがー
少々困ったことが
起きたのです

それで
この面ですからー

お人好しの
宮商家の御座に是非
協力を要請したいと
思っています

協

「要請」って言葉の
「請う」ってとこの
意味をちっとは考えな



体操第2

あれは
基本的に男性に
向きの無い
わたくし共が
偉大なる
あるじ様のもと
中央学園運動部で
平穩にいちきついで
暮らしていた
ときのことでした

——ここまでの
文面でわからない
ところはありますか

…引っかかる
ところか
ないけどな…

お前の説明が
聞き取れない
からもう一回
言って

いいから
聞けよ

突然 綱を
裂くような
悲鳴が――

- 1: ぶける
- 2: 切れる
- 3: 伝説第3

そして、わたしの
目前に現れた
巨大な塊——
どう悪い塊——



これが
傭徒の生首で！

な……



同時に現れた
異形の怪物の
大群が傭徒の皆さんを
食いつくは食べ
ちぎっては食べ

もはや施設は
地獄絵図！

本当に
そんなことが……



というのは
嘘ですけど！

嘘かい！

冗談飛ばす
余裕があんなら
勝手に帰んな

失礼しました
話しているうちに
つい睡り上がって
しまいました

真面目に
お話ししますと
スミと

面白い！

あー
びっくりしたー

飛んできたのは
生首で！

そこまでは
本当なのかい



血塗の――





うんすい

猛攻を構えた

霊水が



あ...







さすがにあたくしも
別荘にされました

あ……

アイドンノー

種がらせを兼ねて
本陣で正座に
臨みました

すると
どうでしょう
機嫌からぶりばりに
機嫌が！

軽やかな女は
ある意味
天晴れというや

さすがにあは
ますいと
思ひ始めた時――

おいでください
ました

それはもう
美味しい
タイミングで



よつ
あるじ様！



そうです！
教授様が
間に入って
下さったのです！

THE
WORLD'S

[illegible]

その日は、
たまたまが偶然な
事柄の対応を
なまつて
おられた村松様……

偉大なる戦艦種が
海軍に深い
影響をもつて
わたくし共を
めざり守つて
下さつたのです！

正

死ななした！

もしも、
聞かされて
おどかす

11



そして
あっという間に
捕まる教祖様



あるじ様と
乗客は
運れ去られ

そのあるじって
セツは何か
役に立ったの
かい？

なんの為に
出てきたのだ



現った化け物は
あたくし共を
いいように捕縛
いたしました

アツタなんて
助かったんだい

それが...





いざというとき
こちらに
使用するつもりで
用意していた
爆薬を持って
怪物に弾薬たりを

2000



というかも知れないが、それはその信憑性について問うべきであらう。

「**「日本経済新聞」の「日本経済」**」

よく聞き取れ
ておいたの
ですが……











お持ち下さい

よろしいん
ですか？

アタシらにや
関係ないわ



アタシらの
専断そのものが
アタシらにや
迷惑だったんだぞ

いそぐいう
ことですか

ん
？



先輩アタシらは
一般的に
演習艦本には
関係するつてだけで
おん好しなわけじゃ
ない

アタシの
言っていることが
ウソじゃないんだと
したら

単に好都合ってんだ



本編に
よろしいんですか？

本当に？

ふん

当たり前じゃ



こちらは
同僚意識の
高い某団だと
分析していたのに
意外です

わけもわからず
先送られるというのは
なかなか不快だの

…同僚？



あ

わたくし
言ってません
でしたか？
そうでした
そうでした

なんの謎だい



早く言え――

あの場所、
見ないと困ったら――





デスレス

DEATHLESS



ふーん！



中央立院って
都外着入れるや
いけないうでしよす

そんな
服装！

君の立場が
悪くならないと
いいんだけど

いいの……

あなたの役に
立てるならー

はは
可愛いなあ

あつ！

スタ

スタ

貴族はこゝまでの
趣向さんには
めんどくさいから
手出さないん
だけどもー

さすがは
世しげな
貴族の
使さんだ

何

を

あひ

ん

ん

シてるんで
しょうか！

あひ！

神楽は本殿でナニを
してるんでしょうか

モザイクも
無しで！

ひ……
乙金舞師！

その子わりと
重宝したほうだから
要めてあげなま

信使を
隠匿させるのは
やめていただけ
ませんか？

中央主殿へようこそ
いらつしやいました

はっはっは

いやー
ここまでは
通けずくの
苦労したした



それで！
が、は
どうなるのかな？

いろんな方法で
死体を処理して
闇へ入るのか
闇から闇へ
入られたりとか

ZAN・NEN
ですが！



世界の安寧を維持す
るに様のお蔭で
そんな事でござん

こちらへ！



あるじ様か
お会いに
なるそうです

へー
バレてたんだ



ええあなたが
あの信使を助けた
所から



あるじ様は
すべて
お見通し
なのです

土一丸



ひね
捻りますよ

乙金……

かまわぬ

しかし
あるじ様—
失礼にも
權が……

失礼は
お互い様
だよな—

なにも
謝罪しな
いのかよ
うござん
す

どうせ
お人形さんごじ
えんだしさ

ちやおう

……

本体が
どこかなんて
野暮なことは
聞かないよ

平夕はおはをし
たいだけだしな



ふふふふ
「お前様はよくぞ」

ひっ！



「しばらく
主殿には近寄らない
ように」

はい



僕 延寿

やほ

あの地を
明け渡す準備でも
整ったか？



何用じゃ...
勘解には
目があった
はずじゃが...



あのときの
様子が...





と

そのような次第で

あの失礼な
老人はあるじ様と
一緒にさうわれて
ゆきましたー

わたしはさう
ゆうて
帰りました

こちらの方々に
セキニンを取って
いただこうと……

どござや！

そいつは
どこ行った！



そんな……

延寿様が……

校葉か……
こゝろなにか……

化け物に誘拐……

触手……

凌辱………！

恥辱して
泣き
してある……

誘拐
被害

さう……
ほんとうに
真実なんだ……

校葉は
心配して
いるのです……

……あら

キッ







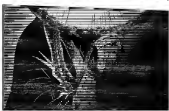














これが連綿とど
するなり！

目的のある
仕組みだ！

露木……



そんな
わけは無い！

すぐ近くなら
あやっほ——

人間であつた















なんで!?

おめえ!

いや
当たり前だ

おたまを

決ま

遊軍角の前に
王が出てくる





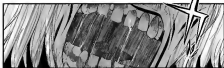
デスレス

DEATHLESS



第39巻 困った娘と頂上













いちをひく【手を強く】
 「無敵無敵」無と強づく。または、無とで
 物事から手を引くさま。一般に「オジヤが引いた
 だけよ、シノギが属っしもうたんや
 ないかい。」

どどりやがり
ましたか！

そうじゃあなくて……

行ったら……
ダメだって……

焚き付けるな
秋葉

あふん
スサケの姉妹の方です

まったく……

上いか
此屋の姉はどうも
ええ半端……もしくは
こころ使っておる
可能性が高い

相手の目的も
わからぬのに
男衆くこのころで
はやくおけには
事かぬのだ

なるほど
わかりました！

では
秋葉だけでも
命を
懸けるのです……

それこそ
ぬしが行って
何となる

秋葉は義理なので
腕力は方々キレ
です……が……







どうせこのお婆さまの私文書から発見した宮城家の曲書に關する資料なんてケツをふく戯にもならないのです

ちよっ……

待ちやれ

お婆さまと親交のあった郷土史研究家の志との私情にこそると関係のありそうな一定を偶然見つけまして

ほう……
風雨殿の書っておった消えた資料の手がかりかもしれないな

あんなかいい詩だったらしいですよ

甲子女の

「その情報はいいから」



夜は味だま



うー

えと私語ですので記憶も悪い私文書分は割愛して——秋葉が独断した問題の部分はこうです

いや、無断で断りつつ、めい……

「この水士神宮にまつわる童歌の意味は結局分かりませんでした」と









——星降リシ
水士ナルハ

天士ノマヨ
守リシ
見エズノ池

水士ノ宮ノ守ハ
ウタフ（以下省略）

さん
3P
かん

この最後の
「天ノ守」というので
気になったのです

なるほどー

「みやのもろー」
かー

「天守の池」
というわけでも
ないがー

宮ノマヨ

「天士ノマヨ」ってー...

てれち

天守閣のまきか
「マヨ」と
書ってあった
気がする

「天士ノマヨ」
であるうな

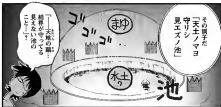
！

てまが
言ってたー
例の雨水が
染してるといー



布袋絵ん
雲
霧
智
の
光





天土ノマヨ
守リシ
見エズノ池

船界の中
巡つて
いつたら...



やっぱし
ここの事かな

見えてる池
だけぞ



蘭蘭左
小池ですわー！

「隠された」とか
そういう意味かも
しれぬ

少なくとも
食け物には
この船界の中は
見えぬのだから





「入れ扉」よ
この池に
手を出さぬ方が
よいと言ったな

何故そう思う

入れ扉？



そのやあ…

ん…



そこにや
この世界の
中心があるからさ

この世界の
中心だぜ！

へー



こないだその池に
ムシが隠れ込んで
餌が尽きつちまった
だろ？

食料とそこを
餌がなくなるとか
したんだぜ！

入れ扉よ！
ぬしと
まともな話すのは
初めてかの

そりだを
様さんよ











巨大な

警報が



調べてみれば
なるまい

先程の歌によれば
この池こそが
「みづち」だという
意味に取れる

何が起るのか
わからぬえせ

どの道ここに
調べぬわけには
いかぬ

今はどのみち

皆いのちがけだ



「ふん、
酸欠が溜れとるわい」

「さっ、行くよ」



デスレス

DEATHLESS



普通なら頂上まで
聖で行けるような
ハイキング向けの
山らしいね

聖山頂を作って
わかった聖に
なっても

山は山
道を一歩
外れれば
異界じゃ

そういうや武蔵
聖バカみたい
山ごもりとか
してたね

バカとは
なんじゃ

武蔵

あう

ここまで進けりゃ
ワシでもわかる











この世に居んで
アンタらの
数値とやらだけ
見逃してたり
しないよ

あると權に
もしもの事が
あれば――

可能を限り
そこいらじゅうの人を
道連れにして死にます

塵いせに

世界を
救うとか言う輩は
どこ行ったんだい

あると權に
もしもの事が
あればどのみち
世界は滅びます

わかった
わかった

星野と一緒に
助けると約束する――

ちなみに
そのあると權だから
数値はだかつてな
んかこの数値なんだ

神様くらい
偉えやろね

……

あると權は――





コイツは普通の
武器でどうこう
できる相手じゃ
ないじゃろ

連中がどうなるのが
かわらないが
流れ弾でも
当たられた日には
たまつたもんじゃ
ないしね
こいつ



とにかく
延滞のキツを
一瞬ブッ飛ばすまで
周が収まらんぞ

心配かけおつて
あのバカ！

しかし
我が娘ながら
たまにはんとに
初参ってるんだか
わかんないね
アイツ

どうせ
安がらみじゃろ







ねえ教祖サマ

黙れ
無礼者

「……まうたく、
一
妖嬈持ちには
昔から
ろくなのが
おらん







壊れてはまた
塗り直して
癒え…癒え続け…

………面影にも
なる



癒えぬ壊れたような
男が――

とあす
はすが

しかし短期
わらわを
殺すでなし

さらには貴様まで
連れてこられた
意味が分からぬ

あー

やっぱなんか
珍らしかった
らしいよこの眼



「面白い」って

「嬉しい」「じやない」

嬉しいほど、
嬉しい異端でなくば
放って置くというのか？

放つという
ほしかったね

放つておけば
失われて
しまうのでは
ないようか……

ダメな
コレクター
みたいなの
言い草だなあ

収集……

いやーもしや
集めておるのか？
異端の力を

コレクターじゃなくで
スカウトマン？

どしたの

結界に
穴が空いた

なんでもう
来たのか
さっすが

見えるのか？

うんにや
ボクはそのずのは
さっぱり

知ってるだけさ

ふむ！
なにをいふ

ボクの
おにーちゃんど
おねーちゃんほ
昔から
せつがちでね

兄様……
貴様の足跡をぞ
衆人じやろう
ここに集てゐるに……

いや……あつたか
確実がわつたか



若返りの
美態か
哀れな！
恐ろしい真似を
させねる…



もはや
スナッパ感覚で
やってる
カンジだけど…

ナニか
マズいのかな？

しかし
機会やも
しれぬ



令代の
富の守の剣士は
歴代でもそうとうの
強者じゃ



あの式鬼も

さほど余裕は
あるまい



……今ならば

総り殺すも
たやすいぞ





来ました!

受信!

乙金通話!



どうぞぞうぞう!

OK!



あたりの前です

あるじ様は
ご無事
なのですね!

校長様は

どうぞ
お使い下さい♥

この時のために
この鉢
日々磨いて磨いて
おります

変
ン

身
！









なんにも
無いわ

海苔は
寝て貰え

ひびく



あの地が
こんなに
広いわけが
なからう

ゴッホ

そーいや
そーだね

どーなってるの？



いずれ幻であろ

結界の中や
とやらの
屋敷があったと
いうことだめ

みんな
大丈夫かなあ

ええキ殿が
心配しても
始まるわ





天地との約定だ

天と地の
共にある
この天地と
約定するのだ

まるで
運命の言葉
ではないか

——人の名前で

この不朽の

不滅の

永劫の誓に

あれ？
スズケ
どうしたの？

ねえ——



永劫の――

ちよつとー

なんか
落ちてる！

ちよっと
スサクってば！

起きてるって
ねえ！

ここって
池の底じゃ
なかったのけ

なんか
落ちてるし！

オオオ

オオ



違う

まやかした

これが――

世界の中心――



あたしたちを
世界の中心とは
別のところへ
誘導しようと
してる！





簡単だ…

こんな話など…

消し飛ばして
しまえばいい…

あ…

000





第41話 あいしたひと



あつわわわ...!?



























えー
アツたか……



ううん……
そっか……

何十年も
経つて……



さつた
あたしも……

これからずっと
過るかなんだ……



あやっは
死んだ



あんなに可愛
い人……

……スミナ……



そんなわけがない









何ぞ！



ごめん…

今急ぎでサタの
昔の事情が
見えちゃって

王様様でござります！



貴族をどうな！
何を見たいのか
知らぬが…

あの程度は
出会いや別れなぞ…



カビが
生えるにしろか
腐生した腐ぞ



ベタ惚れ
だったじゃん



なんか乙女さんの
誤聞いたときから
様子ヘンだったし

あめつちめー

馬鹿馬鹿しい
偶然だ！

大世に
死んだ
人間だぞ…



吾は汝を
常に思う

天恵との
約定だ

まるで
求愛の言葉
ではないか

心の奥も
持たぬ
この恋心

——人の分限で

心は人間のみに
宿るものではない

「こころは
まじわるに
命を繋ぐと
いふのなら」

おまえは
ひとなのだ

「ッッッッッ」

「死んでい
なければ
救済はない」



「救済の道は
救済者のみ
のみ——」



「白濁すれば
全業とは脱出」



「時に導かれる
友なきは
なだめなり——」

「救済を求めて
この世に在る」

「正なければ
友は世や木と
変わるぬ」

「世間様と——
天地と——
約束せしむ」



そうだ
約束を
したのだ



時を
戻したりは
せぬと

あやつは
言いおったのだ



永劫なぞ
いらぬと

人間の
寿命の限りは
従うと



——吾を……

置いて逝くと



西に――

決して
違うなど

そのように
頭固者が
人であることを
平気でまで
承らえておる
わけがない

だから――

確かめに
行こ！

莫迦者

ムサシ殿も
それや殿も
ミズキ殿のため
命懸けの運命を
しているのだ
それを――

このような
理由で危険な――

――約束
するから



たしかに！
最近あたし
自分が少し悔い！

でも調子に
めらないよう
気をつけるから！

そんなに
好きだった相手と
関係あるかも
しれないのに！

何も確かめ
ないなんて絶対
後悔するから！

寒
隋
智

THE CHINESE

の
あ
る
こ
え



デスレス

DEATHLESS

第42話 舞い降りるひと











それほど
便利には

大いまい



大層得
損ってあいて
行き先も
わからぬなど
間違けも
よいところだ

だって...
お婆ちゃん達の
行き先くらい
その類になれば
わかると思つて...



はいはい！



その金額で
かまわないのです！

それは確定
なのですか！

了解！
ご苦労様
なのです！











……やはり審は
ミズキ殿が
行くことは
勧めぬ



どのみち
ミズキ殿が
行くとうすれば
審には止められぬ

大丈夫！

ちよつと
本気出す！















ふ…
運命ってある
よりじきのう



やはりこちらに
能力を差し向ける
余力は無いのか

これならば…











あの式鬼の
本体を……じや

……これ以上の犠牲
は求めない



あら
いいよ

このちはこつちで
脚元を効てるから







うお!!











われは

天地を守るものなり

デスレス

第六卷

・製作

六道神士

・作画補助

木村田 ウナム

たけぼんG

春風秋冬鈴

・担当編集

鎌谷芳行

（原・監・装）



YOUNG KING

<http://shonengahosha.jp>

電子書籍版

デスレス

6

六道神士

©2011 六道神士／少年画報社

発行・株式会社少年画報社
〒101-8388 東京都千代田区三崎3-3-12

制作：MobileBook.jp